

今号の主な内容

2面 合併記念公園にご意見を



(仮称)合併記念公園の整備について、市民の皆さんのご意見をお寄せください。

3面 審議会・懇談会委員を募集



日ごろから西東京市を「こんなまちにしたい」と思っているあなた!! 審議会・懇談会に参加してみませんか。

6~7面 平成13年度予算のあらまし

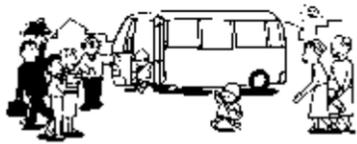


新たなまちづくりに向けて、新市建設計画がスタートします。

8面 菅平少年自然の家をご利用ください



長野県菅平高原の緑に囲まれた「菅平少年自然の家」の7月~9月の空室状況をお知らせします。



市民ニーズを乗せる 新路線のスタートに向けて



~コミュニティバス運行計画路線(案)をお知らせします~

西東京市コミュニティバスの基本的な方針

- ・全市的に公共交通不便地域の解消を図る
- ・平成13年度内のコミュニティバス開業を目標とする
- ・都市計画道路の整備に合わせて将来運行ルートを増設する

市では、新市建設計画の重点事業の一つとして期待されているコミュニティバスについて、平成13年度中に運行を開始していきたいと考えています。

コミュニティバスの導入に当たっては、専門家、国土交通省、警察署などのご協力をいただきながら、合併以前から基礎的な準備を進めてきました。ここで一定の調査報告書がまとまりましたので、ルート(案)をお知らせします。

今後、停留所の位置やバスの便数などの詳細についても検討し、皆さんのご協力を得ながら、運行開始に向けての準備を進めていきます。

なお、コミュニティバスに関する市民説明会も開催する予定です。詳細が決まりしだい市報などでお知らせします。



第4ルート(案)

西武新宿線田無駅を起点として、芝久保地域を經由し、終点を多摩六都科学館に設定したものです。全体的に道路幅員が狭いことから、車両幅員が2メートル以下の車両を導入し、円滑な運行を実現していきます。田無駅から広域的な教育施設である多摩六都科学館へのルートが確保されます。



第1ルート(案)

西武池袋線保谷駅北口を起点として、市の北側に位置する北町地域を循環するルートです。全体的に道路幅員が狭いことから、車両幅員が2メートル以下の車両(通常の小型バスよりもさらに小さいもの)を導入し、円滑な運行を実現していきます。現在、保谷駅北口を整備中(平成14年度完了予定)のため、保谷駅北側約300メートルの地点で折り返し運転を行う予定です。

第2ルート(案)

西武池袋線保谷駅南口を起点として、保谷庁舎を經由し、現行のキャンパスの運行ルートを継承して西武新宿線東伏見駅北口に至るルートです。現行のキャンパスを短縮化し、さらに駅間ルートに改善して、利用者の利便性を図ります。

第3ルート(案)

西武新宿線東伏見駅南口を起点として、現行のキャンパスの運行ルートを継承して五日市街道を通り、新町、向台町を經由して田無駅に至るルートです。現行のキャンパスを田無駅まで延長することにより、大規模事業所等の通勤者も利用いただけます。

コミュニティバスとは

道路事情によってバス路線網から外れた地域に小型のバスを運行させ、高齢者の方や障害者の方、お子さんをお連れの方など市民の皆さんが気軽に外出できる「一人ひとりが輝くまち」を実現するのがコミュニティバスです。

市内にコミュニティバスを運行させることにより、「地域融合の促進」「商業地域の活性化」「違法駐車・放置自転車の削減」などの効果も期待できます。

『コミュニティバス導入に関する市民懇談会』の委員を募集します

詳しくは、3面「審議会・懇談会委員を募集します!」市民公募一覧の表中「コミュニティバス導入に関する市民懇談会」をご覧ください。

交通計画課
(☎内線2472)
保谷庁舎